

2022年2月10日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
 会 社 名 GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 青山 満
 (コード番号：3788 東証一部)
 問合せ先 専務取締役グループ CFO 関野 倫有
 (TEL：03-6415-6100)

特別損失の計上および通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は2021年12月期決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしました。また、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期の連結業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、お知らせいたします。

連結営業利益および連結経常利益においては、クラウドインフラ事業の売上が好調に推移したことおよびDX事業のコスト最適化により販売管理費が減少したこと等の影響で予想数値を上回ったものの、2021年12月期第4四半期に、特別損失(減損損失)を計上したことにより、親会社に帰属する当期純利益が予想数値より減益となりました。

－記－

1. 特別損失の計上について

DX事業において、市場および事業環境の変化に伴い、将来の投資計画の見直しを行ったことにより、IoTソリューションサービスに係るソフトウェアについて減損損失の計上の必要が生じたため、当事業年度において、382百万円の特別損失を計上いたしました。

2. 2021年12月期 連結業績予想と実績値の差異(2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	14,229	1,008	1,050	775	円 銭 67.28
今回修正予想 (B)	14,046	1,171	1,199	483	41.98
増 減 額 (B - A)	△183	+163	+149	△292	
増 減 率 (%)	△1.3%	+16.2%	+14.3%	△37.6%	
(参考)前期連結実績 (2020年12月期)	13,332	1,357	1,394	1,170	101.62

3. 差異の理由

連結売上高においては概ね予想通りに推移し、連結営業利益および連結経常利益においては予想を上回る水準で推移したものの、前述のとおり DX 事業で減損損失を特別損失として計上したことにより、親会社に帰属する当期純利益が、前回発表より 292 百万円減少し 483 百万円となりました。

※ 期末配当につきましては、前回公表のとおり 1 株当たり 33 円 64 銭を予定しております。

以 上